

2014/5/19

2014 年度春学期藁谷研究会

構想発表

## 「女川さいがい FM の成功の秘訣とは」

### 1. 研究概要

東日本大震災後にできた、宮城県牡鹿郡女川町を放送対象地域とする臨時災害放送局「女川さいがい FM」が全国的に有名になった理由を探る。本研究において、“成功”は「地域の人に愛されることで、その他の地域でも有名になった」と定義する。文献・比較調査を行うことで女川さいがい FM とその他のコミュニティ FM との共通点・相違点を導き、インタビュー調査を行うことで女川さいがい FM の特徴を深く調査する。そこから見える女川さいがい FM の成功の秘訣を一般化し、他のコミュニティ FM でも参考になる情報を提示する。

### 2. 研究背景・目的

日本は災害大国であり、また小さな国土の中に色々な地方独特の文化を持っている。地域に密着するという特徴がある FM ラジオこそが、災害情報だけでなく地域への愛着心・帰属意識を高めると考えている。研究を続けることで「市民メディア」の可能性を広げる鍵を探したいと思っている。

### 3. 研究内容・手法

#### ①文献調査

現在調査すると決めている本は以下の 5 つである。

「地域メディアを学ぶ人のために/田丸紀雄」-(a)

「市民メディアの挑戦/松本恭幸」-(b)

「地域情報と社会心理/船津衛」-(c)

「メディアの地域貢献/早稲田大学メディア文化研究所」-(d)

「マスメディアと社会生活

-ジェンダー・地方・ダイバーシティの視座から-/四方由美」-(e)

これらから地方の放送局の特徴や問題点等を探る。

必要に応じて論文等も調査し、先行研究がどのくらい行われているかも調べる。

#### ②インタビュー調査

女川さいがい FM のナビゲーターをしている、SFC 環境情報学部 2 年の阿部真奈さんに聞き取り調査をする。

彼女の経歴・放送に対する思い等を尋ね、放送の発信者としての視点を捉える。

### ③比較調査

コミュニティ FM ではないが地域に密着している女川さいがい FM と他のコミュニティ FM を比較する。比較する内容はタイムテーブルと同じような情報を伝える番組である。(地震のニュースや人気番組等)

### 4. 仮説

女川さいがい FM が成功した秘訣は、地域独特の話し方・トークの内容によるのではないかと

### 5. 資料・参考文献

<http://ja.wikipedia.org/wiki/おながわさいがいエフエム>

<http://onagawafm.jp>

3.(a)～(e)